殿

川内川下流改修に係る要望書



虎居地区冠水状況

さつま町虎居地区（H18．7．23）



向田地区冠水状況

薩摩川内市向田・大小路地区（H18．7．23）

令和　８　年　１１月

川内川下流改修促進期成会

川内川下流改修について

川内川河川改修につきましては、かねてから格段の御高配を賜り、川内川下流域住民一同心から感謝申し上げます。

平成１８年７月の鹿児島県北部豪雨災害により採択された川内川河川激甚災害対策特別緊急事業が平成２５年に完成し、また、平成２８年出水期から治水効果を発現し、平成３０年に完成いたしました鶴田ダム再開発事業につきましても、国土交通省をはじめ関係各位の御支援・御尽力に、心から感謝申し上げます。

さらに、令和３年７月の豪雨により薩摩川内市の中心市街地が浸水したことを受け、排水機場の操作の連動・集約化や遠隔化など、施設の改修及びシステムの構築を鋭意推進いただいていることに、重ねて厚く感謝申し上げます。

さて、近年においては、全国的に線状降水帯や大型台風による大規模な自然災害が頻発しており、川内川においても令和２年、令和３年と豪雨に見舞われ、本年6月には薩摩川内市において線状降水帯による大雨で多数の住宅に浸水被害が発生するなど、自然災害に対する住民の不安は高まっております。

現在、天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業や高潮対策事業等河川整備が実施され、治水安全度の格段の向上が図られているところですが、今後も、豪雨災害等様々な自然災害に備えるため 「第１次国土強靭化実施中期計画」に基づく取組を着実に推進していく必要があります。

また、気候変動の影響により今後、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、国・県・市町等のあらゆる関係者が協働し、河川における治水対策や浸水被害軽減対策などのまちづくり・ソフト施策を総合的に進める「川内川水系流域治水プロジェクト（令和３年３月策定）」を推進していく必要があります。

一方、川内川下流域の活力ある発展には、治水のみならず、潤いと安らぎのある、快適な河川空間の整備が必要不可欠であり、治水安全度の向上と快適な河川空間を実現する環境整備の両立が求められています。

当期成会としましても、円滑な事業の促進を図るため、改修事業に必要な用地取得及び地元との諸調整など、積極的に協力する所存でございますので、実情を御賢察の上、次の重要事項の早期実現に特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

川内川下流域位置図



令和 ８ 年 11 月

川内川下流改修促進期成会

会 長　 田 中 良 二

１　堤防の整備などのハード対策と、避難計画の充実や危機管理体制の構築などのソフト対策は、防災対策の両輪であり、水害に強い地域づくりを実現するためには必要不可欠なものである。
　ついては、「川内川水系流域治水プロジェクト」に基づく取組みについて、実効性のあるハード・ソフト対策の充実・強化に取り組んでいただきたい。

２　九州地方は自然災害の常襲地帯であり、気候変動により更に激甚化・頻発化が想定される豪雨などに備え、河川整備基本方針及び河川整備計画の見直しを推進し、治水安全度の更なる向上を図るとともに、地域発展等へのストック効果も期待される河川事業について、着実かつ強力に推進していただきたい。
　また、事業の実施に当たっては、地域住民の意向を充分に反映していただくとともに、令和８年８月に変更登録された新たな「川内川水系かわまちづくり計画」に基づき、まちづくりと一体となった潤いと安らぎのある河川空間の整備及び更なる利活用に向けた支援を関係機関連携のもと推進していただきたい。

３　災害を未然に防止、軽減する事前防災対策が重要であることから治水事業の予算の全体枠を拡大するとともに、川内川下流部の河川改修、高潮対策事業及び環境整備事業を推進するに当たって、物価・人件費の高騰による影響も考慮の上、必要な予算を当初予算において確保していただきたい。
　また、「第１次国土強靱化実施中期計画」に基づく取組を計画的かつ着実に推進するため、切れ目なく継続的・安定的に必要な予算・財源を別枠で確保していただきたい。

４　排水機場などの河川管理施設について、適切な維持管理と老朽化した施設の計画的な改修・更新を進め、これら施設の機能を確実に保持するとともに、省力化や安全性の向上につながるＧＸ・ＤＸへの取組を推進し、河川管理の高度化・効率化に努めていただきたい。

５　国土交通省の事務所・出張所は地方公共団体等の窓口でもあり、災害時におけるリエゾン・ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ等の支援や現場の最前線で復旧作業を行うなど、非常に重要な役割を担っていることから、より一層の人員の確保・管理体制の強化を図られたい。

重要要望事項

◇薩摩川内市

１　川内市街部改修

土地区画整理事業と一体となった天辰（あまたつ）第二地区まちづくり一体型引堤事業の推進及び地域の意見を反映した河川環境整備

２　久見崎（ぐみざき）地区の高潮対策の早期完成

３　東郷（とうごう）（斧渕（おのぶち）・楠元（くすもと））地区の河川改修事業の早期実施

４　特定都市河川の隈之城（くまのじょう）川流域に係る流域水害対策計画の早期策定

５　河川管理の高度化・効率化及び内水対策への支援

排水機場等の長寿命化や計画的な改修・更新を進めるとともに河川管理の高度化・効率化の推進及び内水被害の軽減

６　市街部における浸水対策への支援

排水ポンプ車の追加配備及びリエゾン・TEC-FORCE の迅速な支援に向けた人員確保

◇さつま町

１　川内川水系かわまちづくりの推進

ホタルを観光資源とした環境整備事業（時吉（ときよし）地区）の早期実施及びホタルなど生物の生息環境の保全推進

２　虎居（とらい）地区の内水対策（排水機場等）の早期整備

３　宮之城屋地（みやのじょうやち）地区の鹿児島県が実施する急傾斜地崩壊対策事業と一体となった河川整備事業の早期完成

《薩摩川内市：土地区画整理事業と一体となった天辰（あまたつ）第二地区まちづくり一体型引堤事業の推進》



平佐リバーパークが誕生





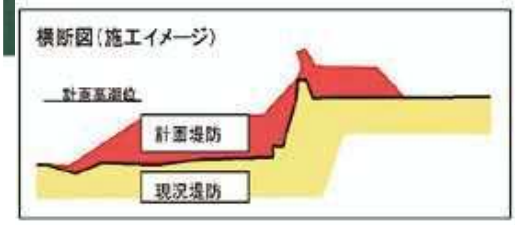
オープニングセレモニー



《薩摩川内市：久見崎（ぐみざき）地区の高潮対策の早期完成》









《薩摩川内市：東郷（斧渕・楠元）地区の河川改修事業の早期着手》



《薩摩川内市：河川管理の高度化・効率化及び内水対策への支援》



《薩摩川内市：市街部における浸水対策への支援》

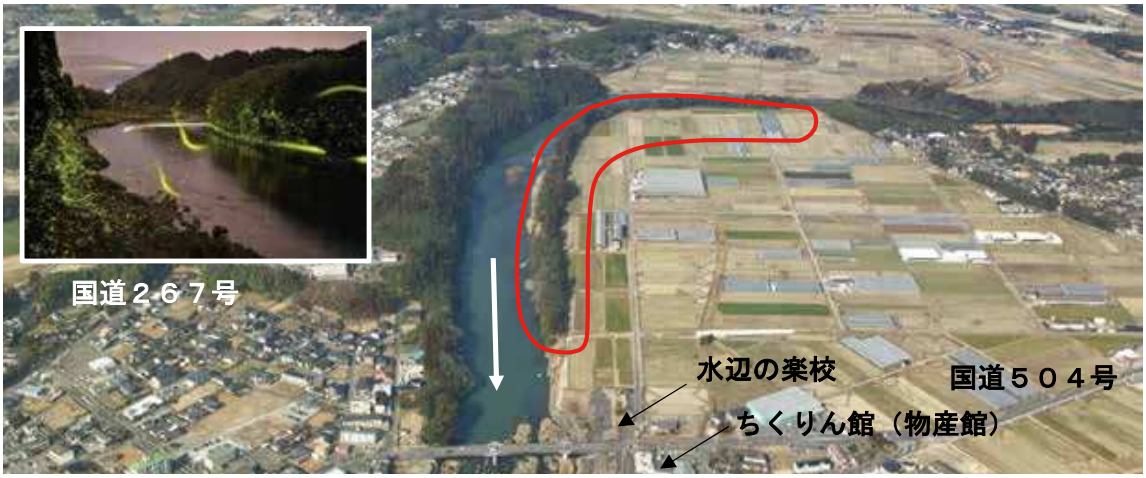


《薩摩川内市：特定都市河川に指定された隈之城川流域に係る流域水害対策計画の早期策定》



▲第１回 隈之城川流域水害対策協議会

《さつま町：ホタルを観光資源とした環境整備事業（時吉地区）の早期実施とホタルなど生物の生息環境の保全推進》



▼ほたる再生プロジェクト（ 幹事会・現地視察 ）







《さつま町：虎居（とらい）地区の内水対策（排水機場等）の早期整備》



内水被害が懸念される虎居樋門

河川激特事業により、平成23年度に築堤が完成し、外水氾濫に対する地域の安全安心は格段に向上したが、一方で住民は内水による浸水被害を大変心配している。

《さつま町：宮之城屋地（みやのじょうやち）地区の鹿児島県が実施する急傾斜地崩壊対策事業と一体となった河川整備事業の早期完成》



川内市街部改修事業（引堤事業）
治水安全度の向上と連携事業による市街部の発展

■　中郷地区、瀬口地区、天辰第一地区及び大小路地区などの市街地では まちづくり（土地区画整理事業等）と連携した引堤事業により、**治水安全度が向上**

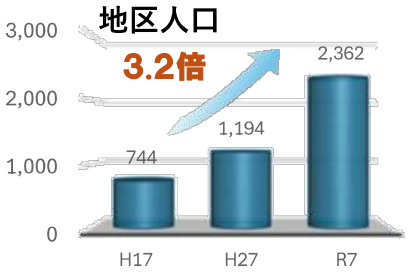
■　市の人口は減少傾向であるが、まちづくり一体型引堤事業を実施した地域では**人口が増加中**（事業開始時に比べて約3倍に増加）

■　天辰第一地区は、建築戸数が465戸増加（うち151戸が市外からの入込）
　天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業も **まちの発展につながる**と期待

■　大小路地区に加え、天辰地区の河川空間（平佐リバーパーク）が共用し、新たなにぎわい創出による**交流人口の拡大及び定住人口の増加**に期待



天辰第一地区の動態



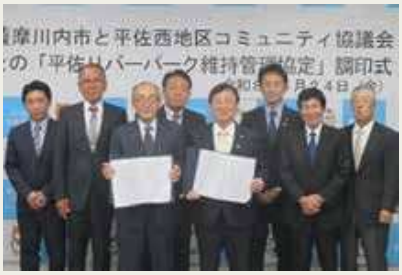


地区外からの入込
465戸（63％）

天辰地区かわまちづくり事業







『平佐リバーパーク維持管理協定』
調印式（R8. 4.24）

激 特 事 業 に よ る 治 水 安 全 度 向 上

◆治水対策と一体でまちづくりを実施

○さつま町の中心を流れる川内川沿いには家屋等背後資産が集中

○平成18年7月の梅雨前線により、川内川流域において記録的な豪雨をもたらし、川内川全域で大規模な被害が発生。さつま町では特に甚大な被害を被った。

（H18.7：さつま町　床上850戸、床下89戸、合計939戸）

○平成18年7月洪水後の激特事業において、「推込分水路」と「上下流の河道掘削」により上流宮之城地区の水位低下を図り、併せて堤防を整備することで、平成18年7月洪水の外水氾濫による家屋の浸水被害を解消。







＜激特事業実施前＞
開催イベント

「泳ぎ初め」参加者：約100人



激特事業実施後

効　果

新規開催イベント

激特事業後新たに開催されているイベント
参加者：約290人

- 「芝桜植栽」参加者：約70人
- 「せんで川ウォーキング」参加者：約200人
- 「川内川川下り」参加者：約20人







ストック効果

川内川水系かわまちづくり計画

薩摩川内市・さつま町予定箇所位置

令和３年３月、令和６年８月「かわまちづくり計画」変更登録













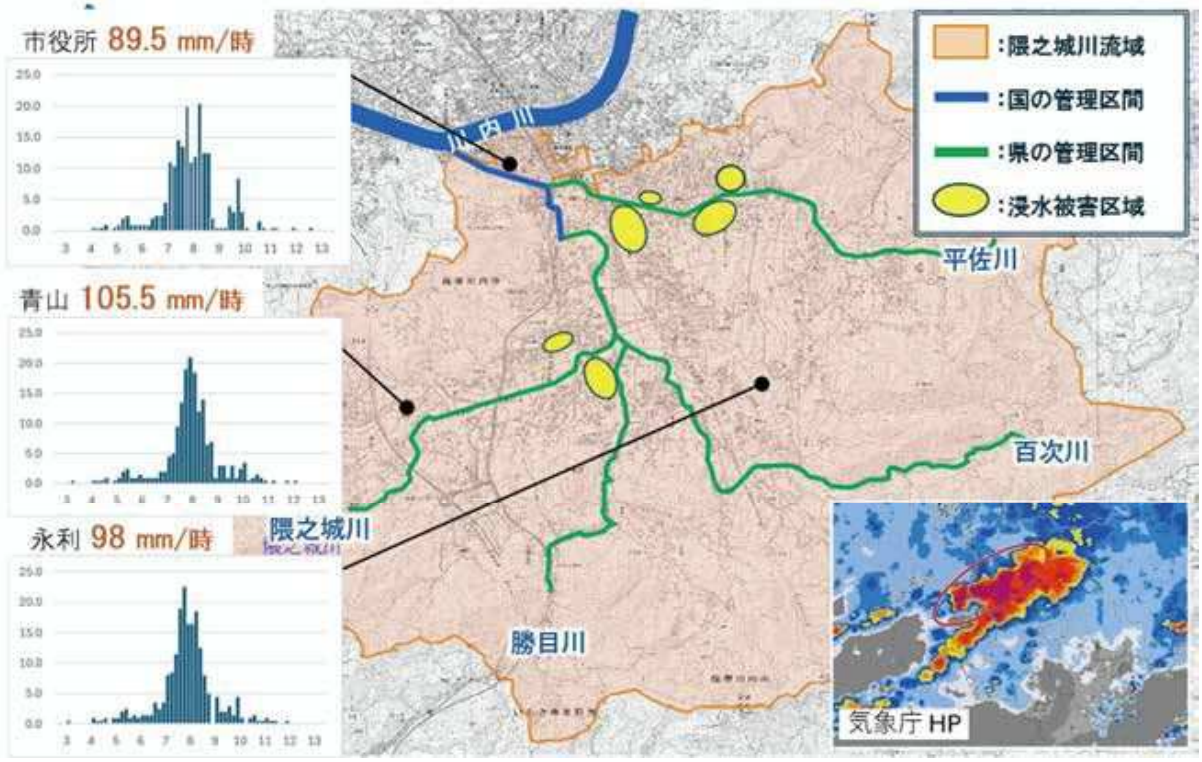




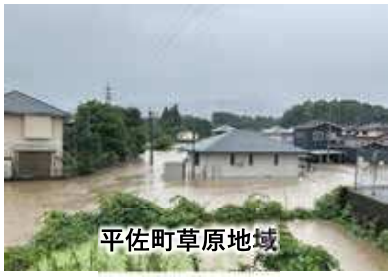


令和８年６月24日豪雨の被害状況
（隈之城川流域）

・線状降水帯発生に伴う時間雨量 100 ㎜を越える集中豪雨に見舞われ、急激な増水により公共交通の運休、幹線道路の通行止め、床上浸水などの被害が発生した。




市道 木場茶屋隈之城線


平佐町草原地域


永利町石神地域

【気象情報】

8:06	大雨警報	
8:19	線状降水帯直前予測	★
8:29	土砂災害危険警報	29 分
8:45	大雨危険警報	
8:48	線状降水帯発生情報	★

【降雨状況】

連続降水量	242 ㎜
24 時間降水量	189 ㎜
最大１時間降水量	108 ㎜

（樋脇観測所）

【河川水位】平佐川

時間	水位
8:00	2. 86
9:00	5. 16
10:00	6. 00
11:00	5. 80
12:00	5. 19
13:00	4. 15
14:00	3. 40

水防団待機水位
氾濫注意水位
避難判断水位
氾濫危険水位

【被害状況】　８月１９日時点

	床下浸水	床上浸水
薩摩川内市全域	117棟	27棟
隈之城川流域内	102棟	26棟

【対応・方針】

・排水ポンプ施設の点検及び流路浚渫
・臨時ポンプの増設
・浸水センサーの点検
・浸水被害の検証

※流域水害対策計画に反映

令和３年７月１０日の梅雨前線豪雨による薩摩川内市街部の被害状況





















※浸水区域については、現地調査、住民からの情報提供を基に薩摩川内市が作成したもの。

鹿児島県北部豪雨災害（H18．７．19～24）の爪痕と整備状況（参考）

樋渡地区

氾濫状況



整備状況



山崩れ状況



鶴田ダム下流

整備状況



損壊状況



五社下地区

整備状況



蛇行状況



推込分水路

整備状況



さつま町

氾濫状況



楠元地区

整備状況



損壊状況



久住地区

整備状況



薩摩川内市

損壊状況



虎居地区

整備状況



氾濫状況



虎居地区

整備状況



川内川下流改修促進期成会役員名簿

会　長	薩摩川内市長	田中	良二
副会長	さつま町長	上野	俊市
監　事	薩摩川内市議会議長	下園	政喜
〃	さつま町議会議長	新改	秀作
顧　問	鹿児島県議会議員	外薗	勝蔵
〃	〃	鶴薗	真佐彦
〃	〃	内田	一樹
〃	〃	しらいし	誠